

アイヌモシリに天皇 をむかえて考える

植民地主義・人種主義の現在、私たちの責任

2018年 **7**月**28**日(土)

午後1時30分より午後5時00分

札幌市教育文化会館3階305研修室

後援：札幌市

札幌市教育委員会、朝日新聞北海道支社



若者のみなさん！安倍晋三さんにも、オリンピックにも、天皇にも、私にも騙されないためには、どんな勉強が必要でしょうか？一緒に考えましょう。(うかい さとし)

開会あいさつ：石井ポンペ（主催者代表・アイヌ民族）

◆講演 鶴飼哲さん（一橋大学教授、フランス文学・思想）

「国境」と天皇—オリンピック、 コロナリズム、アイヌモシリ

♥うた：石井ポンペ、堀元進&語り芝居：金時江「あんな戦争は繰り返してはいかん」宋神道（東京高裁意見陳述書より）

♣わたしかからも一言

木村二三夫「天皇の名の下で、強制移住から150年」

志堅原郁子「ことばと天皇制～沖縄の体験から」

石純姫 [ソク・スニ] 「帝国の重層的な暴力」

殿平善彦「死者から見つめられて生きる」

ジェフリュイ・ゲーマン「「アメリカ人」からみた天皇制」

◆まとめ：私たちの未来に向かって（鶴飼哲）

※前売りチケットは各プレイガイド・さっぽろ自由学校「遊」ほか各賛同団体にあります。



会費：当日1000円、前売り800円、大学生・高校生以下無料

主催：「天皇問題を考える市民の会」連絡先：松元（090-9516-3750）

【呼びかけ人】

石井ポンペ（アイヌ民族）、小川光子（市民）、加藤多一（童話作家）、清末愛砂（室蘭工業大学大学院准教授）、金時江（キム・シガン北海道民・札幌市民）、清水和恵（札幌市民、牧師）、白山晴雄（反差別・独居老人・札幌森の中生住）、谷百合子（福島原発刑事訴訟支援団・北海道）、花崎皋平（哲学者、著述業）、松元保昭（パレスチナ連帯・札幌）

【賛同団体】

NPO法人さっぽろ自由学校「遊」、カトリック札幌地区正義と平和協議会、9条江別市民の会、クラーク講座モイワ、護憲ネットワーク北海道、札幌キリスト教連合会在日韓国・朝鮮人との共生をめざす委員会、さっぽろ食まちネット、札幌地域労組、市民自治を創る会、JR北海道労組札幌地本、真宗大谷派北海道教区差別問題研究部会、日本キリスト教団新発寒教会ピースプロジェクト、日本キリスト教団北海教区アイヌ民族情報センター、日本キリスト教団北海教区性差別問題担当委員会、日本キリスト教団北海教区宣教部平和部門委員会、日本キリスト教団北海教区日本軍「慰安婦」問題の解決をめざすプロジェクトチーム、日本キリスト教婦人矯風会室蘭グループ、日本聖公会管区女性デスク、念仏者9条の会・北海道、パレスチナ連帯・札幌、フェミニスト神学研究会さっぽろ、仏法を通して九条を学ぶ会、北海道AALA連帯委員会、北海道キリスト者平和の会、北海道同朋運動推進協議会、6月21日現在。集会当日まで引き続き個人・団体賛同を募ります。（当日プログラムに掲載予定。）

鶴飼哲 [うかい さとし] プロフィール

フランス留学中、植民地アルジェリア問題や歴史修正主義者の反ユダヤ主義に遭遇、反アパルトヘイト世界美術家協会やパレスチナ・インティファダ連帯運動に参加。被植民地支配下にあった人々の移民・難民問題、沖縄問題、日本軍「慰安婦」問題など闘う人々とともに歩み自らの思索を紡いできた。『ショアー』、『ルート181』上映運動、迫害に抗議する国際作家議会、原発民衆法廷、非核化地帯構想、反核世界社会フォーラム参加など。1955年生れ。京大卒。ジャック・デリダに師事。一橋大学大学院教授。フランス文学・思想。著書：『抵抗への招待』（1997 みすず書房）、『償いのアルケオロジー』（1997 河出書房新社）、『応答する力』（2003 青土社）、『主権のかなたで』（2008 岩波書店）、共著：鶴飼哲、酒井直樹、テッサ・モーリス・スズキ、李孝徳『レイシズム・スタディーズ序説』（2012 以文社）、共著：鶴飼哲、岡野八代、田中利幸、前田朗『思想の廃墟から一歴史への責任、権力への対峙のために―』（2018 渓流社）、講演録『オリンピック・ファシズムを迎え撃つために』（2017 コラボ玉造）、など。ジャン・ジュネ、ジャック・デリダなど訳書も多数。

